

# 『マツカンドルー航宙記』のあ らすじとメモ

takaidos

## あらすじとメモ

---

チャールズ・シェフィールド。

Charles Sheffield "The McAndrew Chronicles"

1982年。

酒井昭伸/訳。

1991年。

★★★★

SFとしては理想的。

著者にはもっと長生きして、マッカンドルー・シリーズや長編を書いてほしかった。

ユーモアあり。

解説によると、シェフィールドは科学志向、物語志向、世界志向。

<目次>

はじめに/マッカンドルー航宙記について

第1話 キリング・ベクトル(Killing Vector/1978.3)

第2話 慣性モーメント(Moment of Inertia/1980.10)

第3話 真空の色彩(All the color of the Vacuum/1981.2)

第4話 <マナ>を求めて(The Manna Hunt/1982.9)

第5話 放浪惑星(Rogueworld/1983.5)

付録 サイエンス・フィクションのなかの科学

解説/橋元淳一郎

<登場人物>

アーサー・モートン・マッカンドルー:太陽系随一の天才物理学者。ペンローズ研究所所員。

ジーニー・ペラム・ローカー:普段は土星タイタンへの宇宙貨物船の船長。相殺航法の宇宙船が完成した後はアルファ・ケンタウリまでの恒星間飛行に出たい。

ジャン・ペラム:マッカンドルーとローカーの娘。17歳。

スヴェン・ヴィンクルト:多世代宇宙船<マシニングムの方舟>の天才少年。のちペンローズ研究所

所員。

リンペリス:ペンローズ研究所所長。

シクラロ、ヴェーニッヒ、ガウアーズ、マセイド:ペンローズ研究所の所員たち。

ウルフォード:惑星調整局局長。

トールボーイ:惑星調整局局長。ウルフォードの後任。任期は7年。

イフター:太陽系で10億人殺した犯罪者。幻覚剤自由同盟のリーダー。(キリング・ベクトル)

ブライスン:イフターをタイタンに護送する惑星調整局局員。護送官。

ニーナ・ベレス:ニュース・レポーター。AGニュース社社長令嬢。(慣性モーメント)

キャル・マシingham・クレイマン:多世代宇宙船<マシinghamの方舟>のリーダー。(真空の色彩)

アンナ・ライザ・グリス:食糧エネルギー省食糧局の幹部。(<マナ>を求めて)

ウィル・ベイズ:グリスの部下。(<マナ>を求めて)

ペンローズ研究所:

惑星調整局:

USF:統合宇宙連邦。United Space Federation.300万人のUSF市民が100億人の太陽系人類を管理  
。

食糧エネルギー省:食糧局とエネルギー局がある。

<あらすじ>

#### 1.キリング・ベクトル

マッカンドルーとローカーは太陽系で10億人の人間を殺した犯罪者イフターを土星のタイタンに護送するが、途中で自爆テロをかけられ、イフターに逃げられそうになる。

マッカンドルーはイフターに実験中に第7セクションに乗るように勧めるが、それでイフターは宇宙の彼方に飛ばされてしまう。

#### 2.慣性モーメント

マッカンドルーは社長令嬢でニュースレポーターのニーナに頼まれて?新型の相殺航法を有する

宇宙船マーガンサーに彼女を乗せる。

しかし50Gに達した時、不具合で船を帰還させられなくなる。

ローカーはヴェーニヒと別の宇宙船ダタレルでマーガンサーを追い救出する。

### 3.真空の色彩

人類は90~40年前に、17隻の方舟(多世代宇宙船)にそれぞれ3000~10000人を乗せて発進させていた。直径2キロの小惑星などを方舟に改造していて、速度は光速の2,3%だった。

勇気なのか、選民思想なのか、変人の集まりなのか。

その中のマシングムの方舟から、相殺航法の理論を送って来た人物がいた。

マッカンドルーとローカーはホアチン乗って会いに行く。

しかしマシングムの支配体制は狂っていて、マッカンドルーは脳だけ抽出されそうになる。

シュトゥルムの相(インヴォケーション)-真空中でも生身でしばらく活動する技法。

天才少年ヴィクルントを連れ出して辛くも脱出に成功する。

### 4.<マナ>を求めて

食糧エネルギー省のアンナはこのままでは太陽系人類は突然の食糧不足に襲われるという。

ランホフという研究者が太陽系外縁の彗星雲中に高分子の化合物や複雑なポリマーを発見したので、それらを使えば向こう5年は十分な食糧を得られるが、ランホフは彗星雲に行ったまま連絡が途絶えてしまった、という。

マッカンドルー、ローカー、アンナ、ウィルは宇宙船ホアチン乗って彗星雲に向かう。

しかしそこには白血球のような生物が待っていて4人は命からが逃げ帰る。

マッカンドルーはランホフは大鉱脈を掘り当てた、食糧局はまた戻って来ればいい、というが、ウィルはエネルギー省に移りたいと思う。

### 5.放浪惑星

ルナで教育を受けていたジャンが正式にマッカンドルーとローカーの娘として入籍した。

ジャンはヴィクルントが研究しているトライトン・ステーションに行き、ヴィクルントが解き明かした式で見つけた放浪惑星ヴァンデルに行ってしまうが、ポッドからの通信が途絶してしまう。

マッカンドルーとローカーは宇宙船ホアチンでヴァンデルに行き、ギリギリのところで2人の救出に成功する。

ヴァンデルは普段放浪していてストレスを受けず、冷たく安定した惑星だったが、ヴィクルントたちのポッドの着陸で歪みが生じ、大きな震度、磁場嵐を起こしたのだった。

カーネル:カー・ニューマン・ブラックホール。小型のブラックホールで宇宙船に高速の推力を生み出す。マッカンドルーが実現。

ハードSFとは？

「問題をもたらすものは無知ではなく、あやまった知識である」  
～ジョッシュ・ビルングズ/アーティマス・ウォード→マーク・トウェイン？

・解説。

ハードSF三人衆を非科学的に分析。

シェフィールド、ベンフォード、フォワード。

・三軸でセグメントする。

ファンタジー指向⇄ 科学指向

物語指向⇄ アイデア指向

人間指向⇄ 世界指向

・船名

連装船:貨物や人を運ぶ球体をいくつも繋げている。

マーガンサー:アイサ(マッカンドルー宇宙船。相殺航行)。50G。

ダタレル:コバシチドリ。50G。

ホアチン:ツメバケイ(より強化された無慣性飛行)。100G。

スター・ハーヴェスター(アーネ・ランホフが乗っていた)

→

カーネルで加速し続ける。

高密度のディスクで船室にかかるGを相殺して船員を守る。

ディスクは例えば100m、厚さ1m、質量9兆トン。

船室直径は3～4m。

プラズマを発生させながら進むので、加速中は通信が外部との途絶する。

またこのプラズマにほかの宇宙船が触れると、破壊される。

方舟:USFが40～80年前に送り出した多世代宇宙船。選ばれた民、勇気ある人々、変人の集まり。たとえば直径2km、重量50億～200億トンの小惑星を改造して収容人数は3千～1万人。正気を取り戻して地球に引き返す舟もある。

100Gの相殺航法。

船内時間と地球時間の関係。

1ヶ月：1光年

44日：4.3光年(アルファ・ケンタウリ)

2ヶ月：50光年

4ヶ月：200万光年。銀河系の外。アンドロメダに近付ける。